

【入選】 「地球の水を大切に」

河内町立古里中学校 三年 涌井 宏典

地球の水の九十七.五パーセントは海水。淡水はたったの二.五パーセント。

しかし、そのほとんどが北極や南極の氷であり、実際に人間が利用できる水は、地球上の水全体の約〇.〇一パーセントにしかならない。

と、環境に関する本に書いてありました。水が大切な資源であることは知っていましたが、地球規模で見ると、それほど少ししか利用できないなんて、本当に驚きました。今の私達の生活の中で、水は蛇口をひねれば簡単に手に入り、日常生活に合って当然のものになっています。地域によっては、水不足や不衛生な水によって、生命をおびやかされている人々もたくさんいます。けれど、私達はそのような心配もなく、遠くの井戸まで水をくみに行った経験さえありません。非常に恵まれた生活のなかで水を貴重だと知りながら、有難さを忘れていません。また、都会では、水道水が臭くて飲みにくいそうです。川の水の汚染によって、今までの微生物の力や葉だけでは浄化できず、より効果の高い薬が使われているからです。そして、人間は飲料水以外に農作物や家畜を育てたり、工業用水として用いたり、他の動植物とは比べものにならないほどの水を消費しています。水が限られた資源であるという意識を持っていないかのように、消費し汚染しています。

では、水を大切にする方法として私達ができることはなんでしょう。それは、水を汚さないことと、水を無駄にしないことの二つです。

まず、水を汚さないために、家庭では洗剤を自然に害の少ない物に変え、工場では汚水のろ過を強化します。農家では野菜や果樹を無農薬で育てます。消費者が形の悪さや少々のお虫食いがあっても、それらを承知で買うようになればもっとよくなると思います。他にも、土地開発によって、伐採

された森林に、植林を行います。数十年後には、自然の保水効果とろ過機能を持った森林となって、雨水をきれいな地下水にしてくれます。

次に、水を無駄にしないために、私達ができる一番簡単な方法は、水を出しっぱなしにしないことです。歯をみがく時、シャワーを浴びる時など、一人一人が気をつけていれば、いつでも節水できます。お風呂の残り湯で、洗濯や庭の水まきをしたり、雨水をためて利用したりする方法もあります。また、私達が食べている食物や使用している製品類は、作られた過程で必ず水が使われています。直接水としては見えませんが、それらを食べ残し、古くなったからと安易に捨てるのは、水を捨てているのと同じなのです。

それから、現在の水道メーターの他に、室内用メーターを開発できないでしょうか。台所や浴室など、目のつく所に小型のメーターを設置します。そのメーターを好きな時にゼロにもどせば、一日分、一週間分と使用量が一目でわかり、使いすぎに気をつけると思います。さらに、水道料金がタクシーのメーターのように金額で表示されるものもあれば、環境問題に興味のない人たちも普段から節水を心がけるようになると思います。

最後に、水資源を大切にするには、大気汚染や酸性雨、砂漠化などの問題も関係しているので、水だけを取り上げても解決にはなりません。人間は生活を向上させ、文明を発展させるため、自然を破壊してきました。汚染された環境の中で、食物連鎖の頂点にある人間は、地球上のどの生物よりも、いちばん悪影響を受けているでしょう。一人一人が毎日できることから始め、水を大切にすることは、人間自身をも守ることになると思います。